



愛川ふれあいの村 11月の風景

平成28年11月 自然のたより

イチョウの黄葉はピークを過ぎましたが、モミジの紅葉は今月下旬にピークを迎え、見学者を楽しませてくれました。24日には54年ぶりの積雪も重なり、紅葉・黄葉と雪の共演が素敵な景色を見せてくれました。また、モズやジョウビタキ、ツグミなどの冬鳥も村内で良く見られるようになりました。



リンドウ



イロハモミジとタネ



ジョウビタキのオス



イカル



ニシキギ



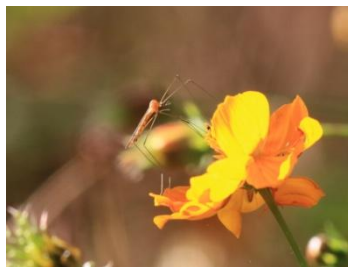
昆虫を捕えたキセキレイ



ホオジロ



ドウダンツツジ



クチナガガンボ



マユミの実を食すメジロ



オオアオイトトンボ



スナゴケ



羽を休めているツグミ



サザンカ



モズ (オス)

◆落ち葉で秋を楽しもう◆

11月も中旬をすぎると、モミジが綺麗に赤く染まってきました。ひと足先に黄葉（こうよう）していたイチヨウと並び、村内は緑・黄・赤と色鮮やかになりました。また地面には落ち葉が広がり、彩られたその景色は見ていて感動します。紅葉を楽しむにあたって、落ち葉も大事な役割を持っているのですね。

落ち葉といえば、紅葉や黄葉のように目で見て楽しむことも醍醐味なのですが、それ以外にもさまざまな楽しみ方があります。

よく乾燥した落ち葉を蹴ったり踏んだりするだけでも落ち葉の感触や音を楽しめますが、たくさんかき集めると落ち葉のクッションが出来上がります。その上に飛び込むと、色々な音や落ち葉に包まれる感触が伝わり、とても楽しいです。

他には落ち葉でお面を作ってみることもできます。目と口の部分を切り取って、顔に当ててみてください。様々な色があり、大きさや形も木によって違います。自分の好きな色、形の葉を探して、自由に作ってみましょう。世界に一つだけのお面ができますよ。葉が直接顔に当たるのが気になる方は、丸く切った厚紙に自分のお気に入りの落ち葉を貼ってみたり、飾ってみたりしてみましょう。品評会もできそうですね。

さらには葉の香りを楽しむ事もできるのです。『カツラ』という木をご存知でしょうか。この木の葉は落ちて時間が経つとほんのりとキャラメルのような香りやわた菓子のような甘い香りを出します。甘いもの好きな方はもちろん、そうでない方も手にとって香りを楽しんでみてください。

眺めてよし、遊んでよし、香りよしの落ち葉。

是非落ち葉で楽しみ、秋の思い出を作ってください。（天野）



▼命がけの飛来▼

冬に近づくと、越冬のために『ツグミ』が繁殖地であるシベリアから日本全国に飛来してきます。シベリアに戻る春先に、鳴き声が聞こえなくなることが「口をつぐんでいる」と考えられたため、この名が付いたといわれています。

ツグミのような渡り鳥は、生きていくために、よりよい環境を求めて移動をします。海を越えて何千キロという距離の移動には、途中動物に襲われたり、体力がなくなり力尽きたり、悪天候に見舞われたりと、多くの危険を伴います。

今ある姿が、多くの苦難を乗り越えた姿であると考えて観察すると、より一層凛々しく見え、感慨深いですね。（多田）



★旬のお知らせ：サツマイモ★

この時期になると、皆さんの街では「石焼～きいも～」という歌が聞こえてきませんか。

収穫は8月頃から始まりますが、旬は10月から1月です。旬と言うと、作物の収穫時期に採ってすぐに食べると美味しいと考えている方が多いと思いますが、広辞苑によると『魚介・野菜・果物などが良く熟して味が最も良い時期』と定義されています。

サツマイモは収穫してから2～3か月置いておくと水分が抜けて甘みが増します。サツマイモだけでなくカボチャも同様に、少し時間を置く方が美味しくなります。

1番美味しく食べることができる時期や、調理法を知って食べてみましょう。（石川）



国名	削減目標	削減率	比較年
中国	GDP当たりのCO ₂ 排出量を2030年までに60-65%削減	60-65%	2005年比
EU	2030年までに40%削減	40%	1990年比
インド	GDP当たりのCO ₂ 排出量を2030年までに33-35%削減	33-35%	2005年比
日本	2030年までに26%削減 ※2005年度比で25-4%削減	26%	2013年度比
ロシア	2030年までに70-75%に抑制	70-75%	1990年比
アメリカ	2025年までに26-28%削減	26-28%	2005年比

出典：全国地球温暖化防止活動推進センターサイト (<http://www.jccca.org/>) より

◎十二月の注目ポイント◎
十二月は環境省が行なっている『地球温暖化防止月間』です。十一月中旬、モロッコで『気候変動枠組条約第二十二回締約国会議(COP22)』が開催されました。この会議は、地球温暖化問題についての国際的なルールや目標を決めるための会議です。日本の削減目標値は「二〇三〇年までに二十六%削減」この数値は二〇〇五年に比べると、二十五・四%できています。しかし、これを二〇三〇年、そして三〇年以降も、継続していくことが、なによりも重要になってきます。エアコンの温度を上げたり下げ過ぎたりしないことや、車のアイドリングをやめたり、マイバッグを持ち歩くなど、一人でもできることはたくさんあります。一人ひとりが意識して日常生活を過ごすことが地球温暖化防止に繋がっていきます。（大瀧）

発行者：神奈川県立愛川ふれあいの村

TEL：046-281-1611 HP：<http://fureai-aikawa.com/>

写真：吉田文雄・大瀧裕基子

文章：多田藍子・天野智裕・石川雄馬・大瀧裕基子

編集：大瀧裕基子・吉田文雄



愛川ふれあいの村で、検索★